

## 第6回 走水小学校跡地活用検討協議会 会議録

■日 時：令和8年3月30日（月）19：00～21：00

■場 所：大津コミュニティセンター 第4・5学習室

■出席者：協議会委員 出席：12名

傍聴者 2名

FM推進課（事務局） 課 長 山中 理

主 査 土田 正和

主 任 岩崎 勝美

主 任 薄井 良真

教育政策課 課 長 飯田 達也

大津行政センター 館 長 竹内 智巳

三菱UFJリサーチ&コンサルティング 西尾真治（ファシリテーター）

■内 容：＜議題＞

学校跡地活用の検討

・報告書の確認、共有

### 概 要

#### 1 開会

#### 2 事務局挨拶

（FM推進課長）

皆様こんばんは。本日も走水小学校跡地活用検討協議会にご出席いただき、ありがとうございます。また、先日はお忙しい中、熱海市での学校跡地活用の視察にご参加いただき、ありがとうございました。

本日は第6回の協議会ということで、約1年にわたって開催をしてきた協議会の最終回となります。皆様からのこれまでの検討経過として、横須賀市に向けてご提案いただくものは、「資料2 検討結果報告書」となります。

事務局といたしましては、これまでにいただきましたご意見をできるだけ文字に落とさせていただいたつもりです。改めまして、跡地の方向性について報告書にお目通しをいただき、協議会の総意として考え方に齟齬がないか、思いがしっかり反映されているかという点をご確認いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

よろしくお願いたします。

### 3 議題

#### (1) 学校跡地活用の検討

##### (事務局)

事務局が資料の内容を説明。説明の概要は以下のとおり。

##### ① 第6回の位置づけと報告書構成の確認 **資料1**

- 1 ページは協議会の流れと目的であり、本日、第6回の位置づけは記載のとおり、報告書の確認・共有として、報告書の内容修正について確認いただく予定。
- 2 ページで今後のスケジュール案を示しており、暫定利用に関して令和8年度の新規利用を跡地活用に反映させていくことについて記載内容を変更。また令和8年度に「地域との意見交換」と「サウンディング」の2項目を追加。市の活用案が確定後、令和9年度に事業者の募集を行い、施設改修期間を1年として、令和11年度に本格利用開始を目指すという内容に修正。
- 3 ページで令和8年5月から新規利用トライアルの募集開始、及び4月26日に本報告書内容についての説明会開催の旨を説明。
- 4 ページで地域との意見交換、サウンディングを経て、令和9年3月に跡地活用案を策定することについて説明。

##### ② 走水小学校跡地活用検討協議会 検討結果報告書案 **資料2**

報告書の内容について、第5回での意見を反映した修正箇所について説明。

- 1 ページ  
文章の修正なし、写真を追加
- 4 ページ  
④「自然と文化が維持・調和」の部分に「歴史」の文言を追加。また下から2段落目の「さらには、地域産業である漁業や観光分野の方々とも連携し」という部分で「漁業や歴史・観光分野の方々と連携」というように「歴史」の文言を追加。
- 5 ページ  
具体案に関する下線部について、※1「既の実施している取り組み」と※2「すぐに実現しやすいと思われる取り組み」に分類。
- 6 ページ  
文章の修正なし、エリアごとに写真を追加。
- 8 ページ  
旗山崎公園や砂浜といった小学校周辺エリアの活用イメージを追加。
- 9 ページ  
暫定利用について分類して表を追加。またイメージのイラストについて、時系列が正確になるよう修正。
- 11 ページ  
今後も地域との情報共有や情報交換を十分に設けていくという趣旨の文言を追加。
- 13 ページ  
協議会等の開催状況に、3月13日実施の熱海市網代の先進事例の視察を追記。

##### ③ 走水小学校跡地活用の検討状況説明会開催のお知らせ(第2回)案 **参考資料**

走水地域住民向けに地域説明会を実施する告知、裏面に検討結果報告書の抜粋を記載。この内容で走水町内を回覧する予定であることを説明。

## 【質疑・意見交換】

### （ファシリテーター）

- 本日が協議会の最終日となる。気になる点や追加意見はすべて本日発言いただきたい。
- 資料1について、2ページで今後のスケジュールが書かれており、地域説明会が4月26日に開催されるとの説明があった。本日の会議内容を踏まえて開催されるということであるが、この地域説明会こそが意見交換のスタートになると思う。
- 来年度に地域との意見交換を重ねて下半期に市の案が完成していく流れになり、地域の意見は地域団体の代表を窓口として意見交換をしたいと市から提示されている。これは協議会が終了した後も継続的に市と意見交換していきたいという前回の協議会の議論が反映されている。
- また、来年度からの暫定利用について既存利用の継続だけでなく新しいトライアルも公募により行うこと、このトライアルの結果を評価して市の案に反映させるという説明があった。
- 来年度、地域との意見交換を重ねた結果を市の案としてまとめたものを令和9年度に改めて、地域に説明する。このようにして報告書を検討の基本にしながらし市の案を固め、その後実行されていくという流れを確認しておきたい。
- 資料2に大きな変更はないが、前回の案に皆さんの意見を反映している。
- 4ページで、歴史が走水で大切な要素として将来像やコンセプトに追加されている。
- 8ページで、跡地だけでなく磯や砂浜、旗山崎公園といった周辺施設も含めた広域での活用イメージが反映されている。
- 9ページで、暫定利用について既存利用・新たな活動の2つを進めていくことが明確に整理された。
- 以上のポイントを共有して、皆様からご意見をいただきたい。

### （委員）

- 町内で地域の消防団の車庫を跡地に引っ越してもいいのではないかという意見があった。検討が可能であれば、お願いしたい。

### （事務局）

- 確認だが、既存の消防団の詰所が町内にあるということか。

### （委員）

- そのとおり。3年ほど前に老朽化から建替えの話が出た。この時は「消防局から多少補助金が貰えそう」との話だったが、詰所は土地を市から借りて建っていると聞いた。学校跡地の校庭を使って訓練もできるし、今回の機会は好都合かと思う。

### （事務局）

- この場では回答はできないが、意見として承った。

### （ファシリテーター）

- 今の詰所は車庫を兼ねているということか。

### （委員）

- 消防車が1台ある。

### （ファシリテーター）

- そうすると、学校跡地から消防車両の出入りが可能か、確認が必要と思う。

### （委員）

- 資料はまとまっていて良いと思うが、実際にトライアルを行う時には教育委員会などと連携しないとできないことがたくさんあると思う。地域だけで頑張っても活力などの維持は難しい。跡地活用を一過性で終わらせないためには、市で臨海学校のような取組を継続的に取り組み、友好都市の群馬県富岡市や会津若松市から誘致すれば効果的だと思う。市や教育委員会の支援は絶対に必要になる。

- 和田長浜でYMC Aが運営している施設（三浦YMC Aグローバル・エコ・ビレッジ）では、活用しているのは限られたエリアだけ。走水は地元の人たちがいるので、近隣の伊勢町などの皆さんの協力を得て、県外から来た人たちにレクチャーするなど地元の方が来訪者と直に接すると全然違う。そういう「教育」等は、地域の人を活用しながら、市がプログラムをしっかり立てて継続的に長く活用できるように計画してもらいたい。
- 5ページの「コミュニティ」「子育て」「福祉」「防災」はすべて地域に関わるので、資料では「コミュニティ」を「商業・賑わい」の下に持っていく、「コミュニティ」以下は地域で取り組み、「商業・賑わい」については事業者の選定などをしっかり行えば、良いものができると思う。

#### （事務局）

- 今のご意見は運営に関してのお話と受け止めている。おっしゃるとおり、一過性のものでなく、収支を含めて継続的に実行できる取り組みをしっかりと考えたい。

#### （ファシリテーター）

- 「教育」は学校教育・生涯学習・郷土教育という文脈の中で活用できる資源だと思う。市による支援というより、むしろ市の教育の中で活用するという観点でも捉えられると思う。せっかく「教育」をメイン機能と位置付けているので、市の教育との連携という点は十分に踏まえてもらえると、より良い施設になると感じた。

#### （委員）

- 私は以前、松輪の方によく釣りに行っていたが、数年前から走水でやるようにした。走水にはアジやイカなど鮮魚を扱っている店舗がない。学校跡地を商業施設として販売したら人気が出ると思う。釣り船は今でも結構あるので、釣りをしなくても魚を買える商業施設があるとありがたい。

#### （ファシリテーター）

- 店舗についての具体的な提案をいただいた。

#### （委員）

- 「新たな活動（トライアル）」について、事業者の募集要項案などはあるのか。具体例を見るとあまり“新たな”取り組みというよりは場所を変えただけと感じられ、走水以外からのトライアルがないとチャレンジ的な良い案はできないと思う。

#### （ファシリテーター）

- 現時点で想定している案はあるか。

#### （事務局）

- 「新たな活動（トライアル）」について、始めの段階ではあまり地域を広げない意向だと受け止めていた。学校の統合で馬堀小も一緒の地域として活動すべきという意見から馬堀エリアまでくらいを想定しており、横須賀市全域や市外まで広げるイメージはしていない。本格利用に向けては、例えば、横須賀の海に触れたいと思っている東京の人に来てもらうなどの意見が出ると思うので、幅を広げる可能性はあるが、まずは地域を対象にスタートするイメージを持っている。

#### （委員）

- 10 ページでトライアルの運営について「走水地域の任意団体等」となっているが、4ページの「走水の将来像」の②では「地域内外」となっている。運営が成功するためにはサウンディングやトライアルの段階で走水地域外に範囲を広げた方がよいと思う。
- 熱海の視察については、私は私用で参加できず非常に残念だったが、行かれた方がどう思ったかを聞いてみたい。
- 横須賀では別の取組として「地域まるごとホテル」（神奈川県主体）という活動があり、軍港巡りの事業者や寺院などが地域に関わって、例えば、お寿司作り体験といった様々な活動をしている。この活動は県外からの集客が狙いのようだが、これらの活動と連携

して走水では地域内外を対象にするとより優れたものになると思う。こういった活動のノウハウをサウンディングやトライアルの際に取り入れると、より良いものができると感じる。

#### (事務局)

- 資料2の表現について説明をさせていただくと、4ページは「地域のあるべき将来像」として先々を見据え、視野を広げたかたちで記載をさせてもらっている。10ページは運営手法の具体例をトライアル開始時点という直近の視点で記述しており、最終的には地域内外に視野を広げたいと思っているのは皆さん共通だと思う。
- サウンディングにあたっては、横須賀市外からも人を呼び込める場所にした方が良いといった提案も当然あると思うので、1つの事業者に絞るのではなく、色々な事業者に意見を聞いて、横須賀市外からも人を呼び込めるようにして事業の継続性につなげていきたい。

#### (委員)

- トライアルに関しては、事務局から説明のあった方向であれば問題ないと思っている。走水と全く関係のない地域からの提案に対して「どんどんやってください」となった場合、懸念されるのは地域の中にどんな生活があるのかという点で、例えば「この時間帯にはこういう仕事でこういう人がいる」など、地域の内情といった部分もあると思う。学校のなかだけの話ではなく、色々なところに不安が生まれてしまうのではないかと少し心配に思った。
- 実は先日、知人からいきなり「走水小学校でイベントなど色々なことをやっていかなければいけないと聞いて、こんなことやりたいのだけどどうすればいい？」と言われ、「そういう話はないよ」と答えた。既に活動されている方はたくさんいるなかで、突然そういう方がやってきて、「来週の日曜日にいきなりドンチャン騒ぎしましょう」となったら大変だと思う。
- 去年、旧走水小学校で盆踊りを行ったが、それは地域の人がみんな集まって一生懸命やって、中には賑やかすぎてうるさいと思った方や興味のない方もいたかもしれないが、基本的には地域全体としてすごく良い形で活用ができたと思っている。
- 例えば、それが全く違う地域の人が同じようなことを行ったら、地域の方は「なんだよこれ」と思うのではないかなど。静かな町でこれから何がどうなっていくのかという不安がある地域住民からすると、そういう風になりかねないのではと想像できる。
- ただ、地域だけではできないこともあるので、地域内外で連携して活用方法を見出すのがよいと思う。

#### (ファシリテーター)

- 事務局は地域主体でスタートと謳っており、地域を大事にしていると思う。一方で、地域のみには負担がかかるのは望ましくないという地域の意見がきちんと反映されている。トライアルや本格活用に向けては、この基本的な考え方を踏まえて進めるとよい。

#### (委員)

- 話を少し遡らせてもらうが、消防団の詰所を学校跡地に移転する提案があったのか。

#### (委員)

- 学校跡地に移転してもよいのではとの話があった。

#### (委員)

- 了解した。私の認識では、塩漬けとなっている自衛隊官舎の跡地に移転したらどうかという話は以前から聞いていたが、学校跡地は初耳だった。
- 鮮魚の販売について先ほど提案があったが、走水でもやろうと思えばできる話か。

#### (委員)

- 漁協の関係者は自分の仕事に手一杯で、そこまで手を回せる人間がいない。

**(委員)**

- 人手があればできるということか。

**(委員)**

- わざわざ市場まで行くのではなく、走水のアジを売りたいということであれば、組合の方でその日に獲れたものを回すことはできる。
- どの地域でも仲買人が入ってしまうと、地元産でない魚でも地元産と称して販売してしまうことがある。

**(委員)**

- 網代（熱海市）は走水と田浦を合わせたような街並みで、視察先の施設運営についてはホームページなどを見ると活発に活動をされていると思ったが、実際には結構苦労している様子だった。
- 施設内の食堂などは綺麗な感じで、町全体は走水よりも若干狭いぐらいのこぢんまりとした広さだと思う。運営者の方は人口減と高齢化が熱海市内でも進んでいる地域との話をされていたが、地域内には鰹節を生産する立派なお店もあって、それが非常にアクセントになっていると感じた。
- 5ページの「コミュニティ」については、現在、地域で「いきいきサロン」など高齢者の集まりを、毎回場所を変えて開催しているが、少し手狭な部分もあるので、職員室など広い場所を常時使わせてもらえればありがたい。
- 地域の活動スペースを作るのであれば常設で開けておきたいのと、できれば町内会の事務所で1教室を使用したい。一方で、ロケーションサービスで結構使っているようなので、そこのバッティングが想定される。

**(ファシリテーター)**

- 当面の暫定利用の希望についての意見として伺った。

**(委員)**

- 前回、少し話をさせてもらったが、協議会が終了した後も地域の窓口になる組織について、町内から「町内でそういった窓口を設置できればそれが理想ではないか」という話があった。
- 市と地域で今後の意見のやり取りがスムーズにできるようなかたちをイメージしていたが、町内としてやっていけるようであれば、おそらくはそれが理想かなという話があったのでお伝えしておく。

**(事務局)**

- 地域との意見交換を具体的にどう行っていくかというところは、我々としても結論が出ていないところなので検討させてもらいたい。

**(委員)**

- 最終的に運営事業者が入って成功した際には、旗山崎公園を一部駐車場として活用するという形で案が書かれていると思う。しかし、最初にも話したと思うが、旗山崎公園の駐車場整備は先に行ったほうがよいと感じており、そのあたりの順番についてはどう考えているか。

**(事務局)**

- 旗山崎公園を駐車場として活用するにあたっては、工事等に相応の予算が必要になることを考えると、学校跡地での計画がある程度具体的になってきた段階で「その計画であればこういった広さの駐車場整備が必要」という順序が必要と考えている。計画が曖昧な段階で先行して駐車場整備を進めることは整備規模を誤る恐れが高く、市の事業の進め方としては難しい。

**(委員)**

- 8ページの旗山崎公園のところに「活用」と入っていることについて、この協議会にずっと参加している私たち委員は趣旨を理解できるが、地域の高齢者がゲートボールで使用しているため、不安を抱く住民も出るのではないか。砂浜の「活用」と旗山崎公園を駐車場として「活用」することは重みが違うと思うので、表記の仕方は慎重に検討してもらいたい。

**(委員)**

- 現在の「活用」という意味で、旗山崎公園は日本武尊（やまとたけるのみこと）に関連する歴史のある場所。駐車場として整備するとなっても、歴史の遺構、歴史施設であることをきちんと分かるように考えてもらいたい。
- また、奥の森は低砲台があり、弟橘姫（おとたちばなひめ）の入水伝説の場所でもある。この点はあまり宣伝されていないので、そういうものを含めた歴史的な場所であるという点を踏まえて整備してもらわないと、単に駐車場にして歴史が消えて飛んでしまうということがないようお願いしたい。

**(事務局)**

- 旗山崎公園について大きく2つ意見をいただいた。検討会の開催当初に申し上げたとおり協議会は活用内容を決定する場ではないが、皆様の意見は地域の総意として受け止め、これが実現できるように市も動いていくことを説明させてもらった。
- 8ページの駐車場としての活用については、皆様の想いとして駐車場による活用だったと思うが、実現にあたって、今おっしゃったように歴史を無視するとか、既存の利用者がいる中で駐車場を優先するべきではないと思っている。
- 駐車場として整備していくのであれば、歴史の遺構や、既に利用されている方々への配慮を含めた動きを市の役割としてやっていかなければいけないと思っているので、そのように受け止めていただきたい。

**(ファシリテーター)**

- 歴史を意識し、既存の利用にも配慮した方が良いということを踏まえて、報告書の記述を修正することが望ましい。

**(委員)**

- 跡地へは大型車が入れなくてもマイクロバスなら進入しやすいのではないか。また大津方面へ進む車線から右折する方が、観音崎方面へ進む車線から下り坂で鋭角に左折するよりも進入しやすい。観音崎や美術館の駐車場に大型車が入り、そこからマイクロバスで跡地へ輸送する方法もあるかと思う。

**(ファシリテーター)**

- 具体的な提案をいただきありがたい。

**(委員)**

- 走水小学校跡地はアクセスがわかりにくいので、旗山崎公園の活用として、通過する車から走水小学校跡地が活用されていることがわかるようにした方がよいと思う。

**(ファシリテーター)**

- 看板を設置するということか。

**(委員)**

- 看板を設置するというより、地域に適合した跡地活用地であることのわかりやすい外観を備えた場所にした方がよいということ。

**(委員)**

- 跡地への進入路を確保することは大事で、急カーブだけでなく旗山崎公園に素直に入れるような道路の改修も念頭に置いた方が、跡地活用が楽になり、地域の発展につながると思う。

(委員)

- 網代視察の件で、網代の活用例は熱海市から小学校を無償で借りていると聞いたが、熱海市としてどのような形で無償としているのか、確認はされたのか。

(事務局)

- 熱海市に確認できていないので、後ほど質問してみたい。全国の事例で（無償の）使用貸借は多いと思っており、選択肢の1つと考えている。

(委員)

- 横須賀市は無償では考えていないのか。

(事務局)

- 無償というケースも考えられる。

(委員)

- 網代の事例では建物の1階と2階しか使っていなかったが、走水は網代と異なり校舎の3階から屋上まで防災・震災時の避難場所として考える必要がある。

(委員)

- 報告書では色々な活用方法が記載されているが、全体をまとめるために「歴史」、具体的には、日本武尊伝説や走水小学校が明治の学制発布から2年目に建設されたことなど「歴史」を踏まえたストーリーを主軸に置いて施設整備していくことが望ましい。

(委員)

- 提案に賛成。走水はストーリー性として日本武尊や弟橘姫ゆかりの地になる。それは走水小学校の校歌にも謳われている。古事記の時代から走水という地名はあるので、歴史性は重点だと思う。

(委員)

- 市民説明会で公募するなどして、分かりやすい施設名称を付けた方が良いと思う。

(委員)

- 校舎は現在ロケーションサービスが先約を入れているが、トライアルで使いたい場合にロケーションサービスとスケジュールが被った場合など、スケジュール等に関する約束事はあるのか。

(委員)

- 地域内の意向を優先してほしい。

(事務局)

- 暫定利用でもスケジュール調整が課題となっているのは事実で、現在調整中である。調整結果は改めてご案内したい。

(ファシリテーター)

- かなり具体的な運用をイメージして意見をいただいた。地域の皆様が持っているイメージを共有して、少し意見交換しながら制度設計を急ぐ必要がある。本日もたくさん意見をいただいたので、後ほど事務局に反映してもらう。
- 協議会は本日が最後であり、報告書の最終的な修正と確定については事務局一任という形でよいか。修正内容は委員の皆様フィードバックされる予定なので、事務局に一任とさせていただきたい。
- 1年間、皆様ご協力いただきありがとうございました。最後に皆様から一言ずつお願いします。

(委員)

- 1年間ありがとうございました。走水で生まれ育った私としては、皆さんと走水を大切に思う気持ちを共有できて嬉しかった。歴史や思いが詰まった走水が良くなるように、皆様の思いが反映される跡地活用になることを願いたい。ありがとうございました。

(委員)

- 同じような意見で、色々な方の走水に関するお話が聞けた。横須賀市としては悩むこともあると思うが、地域とコミュニケーションを取って進めてほしい。ありがとうございました。

(委員)

- 走水町内の住民は思いが強い人も結構いる。意見が出てこなくても、いざ決まると「聞いていない」という声が出るとなると、私は次の町内会任期でも役員なので、町内会内部で跡地活用準備室のような組織を作って地域住民にアクセスしようと考えている。市がそういう組織を作ってほしいと言ってくれば、他の役員にも市の要望があることを伝える。活用案は決定事項ではないことを周知するためにも、市にそのような意思表示をお願いしたい。

(委員)

- 同じような内容で楽しみと不安が入り混じっているが、楽しみが大きくなるように進んでいくことを期待している。今後ともよろしくお願いします。

(委員)

- 1年間ありがとうございました。地域の思いがまとまったのは良かった。これからが大変で、跡地活用を通じて子どもたちが楽しめる機会を増やしていきたいと思う。今後ともよろしくお願いします。

(委員)

- 1年間ありがとうございました。皆さん地域住民として走水のことを大切に思ってくれているのを感じた。私も走水愛が高まった。走水の良いところというのは、自然環境など外観もそうだが、昔から地域を守って生きてきた人がいるからである。この跡地活用が地域の発展に生かされることを願いたい。検討協議会が住民感情のガス抜きで終わらないように、市にもしっかり取り組みをお願いしたい。

(委員)

- 私はこれがスタートだと思う。これから当事者が集まって話し合いながらやらないと長続きしない。漁協も皆さんと話し合って、共に頑張っていきたい。

(委員)

- 検討協議会の報告書は良いものができたと思う。私も協議会の一員として加われてよかった。走水小学校が様々な方が集う場所になることを願いたい。この場所に走水地域の方々が納得のいくものがつくられ、我々シャロームの職員はそれに対しサポートしていきたい。1年間ありがとうございました。

(委員)

- 検討協議会のメンバーの「走水愛」を強く感じた。「走水愛」のある皆さんが愛を持って走水の良さを伝えれば、必ず伝わる。発展するかは別として、まずその愛があるから、半分成功していると思う。約1年間関わることができて光栄です。ありがとうございました。

(委員)

- お疲れ様でした。同じく、「走水愛」を痛切に感じた1年だった。走水には様々な思い出があるが、走水の人はずごく親切だと思う。走水の強さや団結力を感じた。

(委員)

- ありがとうございました。この会議には、利用する目線で考えて話して、跡地が後日取り残されないように活力がある姿をイメージして臨んだ。また地域で会合を重ねて出された言葉は重い。地域への思いは個人だけでなく地域全体の会合の積み重ねだと感じた。

#### (委員)

- 約1年1か月、皆さんありがとうございました。協議会はメンバーを選んでくださいという市の要請から始まった。協議会の後に皆さんと話し合う機会を持っていなかったが、「走水未来ミーティング」が補ってくれた。
- 今回がスタートだというのを感じており、私も令和9年度まで町内会役員として残る予定。今後市の窓口として地域の意見をつなげていきたい。

#### (ファシリテーター)

- ファシリテーターを務める時、地域の皆さんも行政も地域を良くしていきたいという思いは同じはずなのに対立関係になりうまくいかないケースが非常に多いので、私のような第三者が入ることで同じ方向を向いて力を合わせるきっかけになれば、と考えて取り組んできた。
- 行政が予め腹案を持ってその内容で決めていく会議が非常に多いが、今回は行政が腹案を持たずに地域の皆さんの意見を聞いて決めていくところから始めている。このような会議は行政の中でほとんど聞いたことがなく、横須賀市としてもチャレンジだったと思う。
- 今回まとまった報告書はゴールというより出発点であり、これが実現しなければ意味がないと思うので、来年度以降、実現に向けてまた皆さんで力を合わせて進めていただけたら良いと思っている。貴重な機会に同席させていただき、大変ありがとうございました。

#### (事務局)

- 皆様ありがとうございました。以上で本協議会を終了とさせていただきます。

## 4 閉 会

#### (FM推進課長)

- 本日も長時間にわたり協議会にご出席いただきありがとうございました。また、初回から1年間の長きにわたりまして、様々な角度からご意見をいただき、この協議会を進められましたこと、重ねて御礼申し上げます。

今後、皆様からいただいた報告書に掲げられた内容につきましては、できるだけ早く実現に結びつけられるように横須賀市として具体化の検討や調整を進めていきます。

検討を進めるにあたっては、報告書を基本としつつ、地域の皆さまのご理解をいただくことや、あるいは実際にお試し利用に取り組むこと、事業性を評価することや法令上の課題なども実際にはあります。こういったことをいくつか対応していかなければならないと改めて感じたところです。

検討協議会としては本日で一区切りとはなりますが、跡地活用の検討は続き、むしろ今日がスタート地点だというお話を先ほどからいただいており、協議会の皆様には今後もお力添えをいただく場面があると思っております。その際にはぜひご協力いただければ幸いです。

改めまして、これまでご理解とご協力いただき本当にありがとうございました。走水地域が学校を拠点として未来を描ける、そんな街になることを祈念いたしまして閉会の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

以上